

幼児性行評定尺度に就て (中)

文學博士 淡路圓治郎

四、性行項目の選定經過

(イ)、質問に對する回答

前記の質問調査に對しましては、二十八名の經驗深い保姆の先生からの回答が御座いました。その他にも、二名の先生からの回答がありましたけれども、保育の經驗が二年未滿の方々でしたので、残念乍ら割愛いたしました。

二つのお願の中で、第二のお願の方は記入が餘り多くありませんでした。即ち現に先生方が保育上特別に注意を拂つてゐられる兒童の性行上の特徴に就ては、如何なる理由でか解りませんが、記入なさつた方は少なかつたのです。然し幸に記入して下さつた方の敘述には、なかなか面白いものがありまして、性行項目の選定に尠からず役に立ちました。

第一のお願には、二十八名の先生がすべて指示の通りに詳細に回答して下さいました。後に掲げます性行評定尺度の項目は、専らこの第一のお願に對する回答を本として、選定せられました。

(ロ)、觀察の難易度

先づ五十二對の性行の中で、平素の保育の經驗上、特に觀察が容易と思はれるもの、特に觀察が困難と思はれるものに夫々別の符號をつけ、また性行の意味のわかりかねるものは抹消するやうに、お願しました所が、次の表のやうな結果になりました。表中の數字は二十八名の先生の回答の種類別の頻數を示します。

觀察の難易度

番號	性	行	容易	普通	困難	難解	點數	性	行	容易	普通	困難	難解	點數	觀察難
															易度
1	氣むづかしい		19	7	2		17	快活である		20	7	1		19	36
2	氣分にはわがたい		17	8	3		14	氣分が變りやすい		17	8	3		14	28
3	容易に感情を示さない		17	5	5	1	10	無邪氣である		18	5	4	1	12	22
4	つまらぬ事を氣にかけない		17	9	2		15	神經質である		18	9	1		17	32
5	物事に注意しない		18	7	2	1	14	物事に興味をもつ		18	7	2	1	14	28
6	正直である		15	9	4		11	嘘をつきやすい		15	8	5		10	21
7	興奮しない		19	7	2		17	落ちついてゐる		20	6	2		18	35
8	敏感である		18	8	2		16	鈍感である		18	8	2		16	32
9	泣きやすい		23	5			23	あまり泣かない		23	4	1		22	45
10	思慮深い		11	14	3		8	軽卒である		12	14	2		10	18
11	あきつばい		23	5			23	根氣づよい		24	4			24	47
12	氣が散らない		20	6	2		18	注意がまとまらない		21	6	1		20	38
13	氣が弱い		22	6			22	勝氣である		22	6			22	44
14	亂暴である		23	5			23	おとなしい		23	5			23	46
15	敏捷である		25	2	1		24	まだるくでのない		24	2	2		22	46
16	ひとの厄介になりにがる		20	8			20	自分のことば自分でする		19	8	1		18	38
17	自信をもつて行動する		13	7	8		5	ひとの云ひなり次第になる		13	7	8		5	10
18	陰氣である		24	4			24	元氣である		24	4			24	48
19	目的なきめて行動する		10	8	9	1	— 1	行き當りばつたりである		10	8	9	1	— 1	— 2
20	物事を知りたがらない		21	5	2		19	知識欲がつよい		22	5	1		21	40
21	工夫なこらす		19	6	3		16	獨創的な所がない		20	6	2		18	34
22	ものを粗末にする		21	6	1		20	ものを大切ににする		21	6	1		20	40
23	几帳面である		22	5	1		21	だらしない		21	5	2		19	40

番號	性	行	容易	普通	困難	難解	點數	性		行		容易	普通	困難	難解	點數	觀察難 易度
								性	行	容易	普通						
24	ひとりぼつちで遊びたがる	23	4	1			22	ひとと一筋に遊ぶ	24	3	1				23	45	
25	ひとのことに干渉しない	20	7	1			19	お節介なやく	21	7					21	40	
26	よく喧嘩する	26	2				26	あまり喧嘩しない	26	2					26	52	
27	ひとの面倒を見る	20	5	3			17	ひとを助けない	19	5	4				15	32	
28	人真似をする	22	6				22	ひとの先に立つ	22	6					22	44	
29	秩序を守る	16	9	2	1		12	もめごとを仕出かす	15	9	3	1			10	22	
30	ひとのする事に氣をとめない	11	12	5	1		6	ひとのする事に心をくばる	11	12	5				6	12	
31	自分の權利を守る	5	8	14	1		-11	自分の權利に無頓着な	5	8	14	1			-11	-22	
32	威張りたがる	22	6				22	威張らない	21	7					21	43	
33	ひとに同情する	12	9	7			5	冷淡である	11	9	8				3	8	
34	利己的である	9	11	8			1	利己的でない	8	11	9				-1	0	
35	親切なつくす	8	14	6			2	不親切である	7	14	7				0	2	
36	我儘である	24	3	1			23	自分勝手はしない	23	3	2				21	44	
37	容易に怒らない	19	8	1			18	怒りつばい	20	8					20	38	
38	れたみ深い	9	10	9			0	ひとをそれまない	10	9	9				1	1	
39	おしゃべりたしない	24	4				24	おしゃべりたがる	24	4					24	48	
40	だんまりやである	23	5				23	無口ではない	23	5					23	46	
41	出しやばりたない	19	9				19	出しやばりたがる	20	8					20	39	
42	人前では氣がれする	11	10	7			4	他人のゐる所でも混乱しない	11	9	8				3	7	
43	すなはである	23	5				23	剛情である	23	5					23	46	
44	ふざけたがる	22	6				22	まじめである	22	6					22	44	
45	潔白である	19	5	4			15	執拗である	19	5	4				15	30	
46	無作法である	17	9	1	1		14	行儀がよい	17	9	1	1			14	28	
47	長上に服従する	15	8	5			10	やゝもすれば反抗する	16	8	4				12	22	

48	目が放せない	20	7		1	18	監督がゐるなくとも安心できる	19	7	4	1	15	33
49	他人の批評に感ずる	8	6	13	1	—7	他人の言を氣にとめない	8	6	13	1	—7	—14
50	ひとの物を欲じがる	16	12			16	ひとのものを欲じがるわ	15	13			15	31
51	卒直である	14	12	2		12	かくじたてなする	14	11	3		11	23
52	よくすれる	19	7	2		17	あまりすれない	19	7	2		17	34

回答の傾向を明にするために、便宜、観察の容易とせられた場合には「1点」、困難とせられた場合には「1点」、特に容易でもなくまた困難でもないとせられた場合には「0点」、また叙述の意味が不明で解し難いとせられた場合を「2点」といふ風に定めて、五十二對の性行項目の夫々に就て合計点を求めて見ます。前表の點數欄の數字の通りになります。この數字は正のものは觀察が比較的に容易く、負のものは比較的困難であることを意味し、しかも數字が大であればあるだけ觀察が容易若くは困難の度を増すことを示して居ります。

今左右一對の性行につき、假に點數の和を以て、その對の觀察、難易度を察することゝ致します。數値の負のものは概して觀察が困難であり、また零に近いものは一般に觀察が容易とは云ひ難い傾がありますから、五十二對の項目の中で17、19、31、33、34、35、38、42、49の九對だけは比較的觀察し難くて、採用が出来ないことが解ります。

これらは全然捨て去るか、または敘述を改めて一層觀察し易いものにするか、孰れにせよ、その儘ではさうにも仕方が無いものであります。

(ハ)、陶冶の必要度

次に五十二對の性行項目の教育的重要性を確めるために、これらを保育上助成したいと思ふもの(十)、矯正したいと思ふもの(一)、また特に助成の必要の大と思はれるもの(㊸)、特に矯正の必要の大と思はれるもの(㊹)、及び助成若くは矯正の必要を認めず寧ろ自然の成行に托せて置くのを適當と信ぜられるものゝ五種に區別してもらひます。次の表のやう

になりました。

この場合にも、先と同様に、⊕には2点、+には1点、=には0点、-には-1点、⊖には-2点といふ工合に假に點數を與へまして、夫々の保育上の重要性を算定して見ます。重味の欄の數字の通りであります。この數字は正のものは助成の必要を示し、また負のものは矯正の必要を現し、その數値が大なる程助成若くは矯正の必要が大であることを意味します。

また左右一對の項目の重味の差を求めまして、便宜、その對の性行の陶冶必要度を推定する(グラフ)致します。右端の陶冶必要度の欄のやうであります。この數字は大なる程陶冶の必要が多く、小なる程保育重要視せられることが少いことが示して居ります。

陶冶の必要度

番號	性	行	⊕	+	=	-	⊖	重味	性	行	⊕	+	=	-	⊖	重味	陶冶必要度
1	氣むつかしい				8	16	4	-24	快活である		6	11	11			23	47
2	氣分にわがやない		2	13	13			17	氣分が變りやすい				5	18	5	-28	45
3	容易に感情を示さぬ			1	16	11		-10	無邪氣である		6	9	13			21	31
4	つまらぬことを氣にかけない		2	17	9			21	神經質である				2	19	7	-33	54
5	物事に注意しない				3	19	6	-31	物事に興味を持つ		7	17	4			31	62
6	正直である		9	12	7			33	嘘をつきやすい				2	8	18	-44	74
7	興奮しやすい				6	20	2	-24	落ちつきである		2	15	11			19	43
8	敏感である			7	20	1		6	鈍感である				16	10	2	-14	20
9	泣きやすい				3	21	4	-23	あまり泣かない		1	10	17			12	41
10	思慮深い		4	13	11			21	軽率である				3	23	2	-27	48
11	おきつばい				1	18	9	-36	根氣強い		8	16	4			32	63
12	氣が散らない		8	11	9			27	注意がまとまらない				2	15	11	-37	64

13	気が弱い			6	18	4	-26	勝氣である		5	19	4	1	27
14	風暴である			2	15	11	-37	おとなしい		4	24		4	41
15	敏捷である	2	10	16			-14	まだらくてのろい			7	20	1	36
16	ひとの厄介になりたがる			2	19	7	-33	自分のことは自分でする	11	13	4		35	18
17	自信を以て行動する	3	17	8			23	ひとの云ひなり次第になる			6	19	3	48
18	陰気である			2	19	7	-33	元氣である	5	12	11		22	55
19	目的をきめて行動する	2	17	9			21	行き當りばつたりである			10	17	1	40
20	物事を知りたがらない			11	15	2	-19	知識欲が強い	8	12	8		28	47
21	工夫をこらす	9	17	2			35	獨創的な所がない			6	17	5	62
22	ものを粗末にする			3	16	9	-34	ものを大切にする	10	11	7		31	65
23	几帳面である	1	15	12			17	だらしがない			2	18	8	51
24	ひとりとつちで遊びたがる			4	14	10	-34	ひとと一緒に遊ぶ	7	9	12		23	57
25	ひとのことに干渉しない			19			9	お節介なやう			7	18	3	33
26	よく喧嘩する			1	20	7	-34	あまり喧嘩しない	3	11	14		17	51
27	ひとの面倒を見る			15			13	ひとを助けない			11	17		30
28	人真似をする			12	16		-16	ひとの先に立つ			25		3	19
29	秩序を守る	5	16	7			26	もめごとを仕出かす			5	14	9	58
30	ひとのすることに氣をとめない			3		1	-2	ひとのすることに心をくはる	3	3	20	5	-2	0
31	自分の權利を守る			20			8	自分の權利に無頓着である			19	9	-9	17
32	威張りたがる			7	18	3	-24	威張らない	2	9	17		13	37
33	ひとに同情する	4	11	13			19	冷淡である			9	17	2	40
34	利己的である			9	13	6	-25	利己的でない	1	11	16		13	38
35	親切なつくす	5	13	10			23	不親切である			3	19	6	54
36	我儘である			2	16	10	-36	自分勝手ばしない	2	13	13		17	58
37	容易に怒らない	3	14	11			20	怒りつばい			1	21	6	58
38	けだみ深い			4	14	10	-34	ひとをそれまない	4	10	14		18	52

番號	性	行	⊕	+	=	-	⊖	意味	性	行	⊕	+	=	-	⊖	意味	陶冶必要度
39	おしやべりをしない		1	11	16			13	おしやべりである				6	18	4	-26	39
40	だんまりやである				10	13	5	-23	無口ではない			7	21			7	30
41	出しやべらない			11	17			11	出しやべりたがる				9	18	1	-20	31
42	人前では気がねをする			9	9	17	2	-21	他人のある所でも気遣いしない		3	13	12			19	40
43	すなはである		7	12	9			26	固情である		6	12	5	13	10	-33	59
44	ふざけたがる				7	16	5	-26	まじめである				10			24	50
45	淡白である		1	13	14			15	執拗である		1	14	9	18	1	-20	35
46	無作法である				4	21	3	-27	行儀がよい		1	14	13			16	43
47	長上に服従する		1	16	11			18	やゝもすれば反抗する				5	20	3	-26	44
48	目が離せない				5	19	4	-27	監督者がなくとも安心が出来る		3	13	12			19	46
49	他人の批評に感ずる		1	2	24	1		3	他人の言を氣にとめない			4	20	4		0	3
50	ひとの物を欲しがらる				3	20	5	-30	ひとのものを欲しがらない		1	14	13			16	46
51	卒直である		4	15	9			23	かくじたてをする				3	11	14	-39	62
52	よくすねる				2	17	9	-35	あまりすねない		1	13	14			15	50

今前表に本きまして、左右各項の重味が20點以上で、左右一對の陶冶必要が40點以上のものを取出し、これらを教育的重要性の比較的に大なものを見做して、採用するに心がけます。1、4、5、6、7、10、11、12、16、17、18、20、21、22、24、29、35、37、43、44、51の二十一對は保育上重要で、頗る適切な觀察項目であることが解り、また逆の13、28、30、31、49の六對は教育的意味が貧弱で排棄するの外はないことが明であります。

(三) 陶冶の困難

最後に、これら五十二對の性行項目に就き、保育の實驗經驗に鑑み、幼稚園兒童に就ては助成若くは矯正が特に困難で到底陶冶の實を擧げ難いと思はれるものを指摘してもらひます。次表のやうな結果が得られました。表中の數字は陶冶

を困難と考へた回答者の人数であります。假に左右二軸の数字を合計して、夫々の陶冶困難度を示すグラフいたしました。右端の数字のやうになります。

陶冶の困難度

番号	性	行	性	行	陶冶困難度	番号	性	行	性	行	陶冶困難度
1	氣づかない		快活である		320	3	知識欲が強い		3	知識欲が強い	3
2	氣分にはわがやない	1	氣分が變りやすい	4	521	1	獨創的な所がない	3	3	獨創的な所がない	3
3	容易に感情を示さない	2	無邪氣である	222	222	1	ものを粗末にする	1	1	ものを大切にする	1
4	つまらぬことを氣にかけない	2	神經質である	8	823	1	几帳面である	1	1	だらしない	1
5	物事に注意しない	2	物事に興味をもつ	224	224	1	ひとりぼつちで遊びたがる	1	1	ひとと一緒に遊ぶ	1
6	正直である	2	嘘をつきやすい	4	425	2	よく喧嘩する	2	2	あまり喧嘩しない	2
7	興奮しやすい	2	落ちついてゐる	226	226	2	ひとの面倒を見る	2	2	ひとを助けたい	2
8	敏感である	2	細感である	2	227	1	人真似をする	1	1	ひとの先に立つ	1
9	泣きやすい	3	あまり泣かない	028	028	1	秩序を守る	1	1	もめごとを仕出かす	3
10	思慮深い	1	輕卒である	1	129	2	ひとのすることに氣をよめない	2	2	ひとのすることに心をくほる	0
11	あきつぽい	3	根氣強い	1	430	2	自分の權利を守る	2	2	自分の權利に無頓着である	4
12	氣が散らない	1	注意がまとまらない	4	431	2	威張りがたがる	2	2	威張らない	3
13	氣が弱い	1	おとなしい	1	132	1	ひとに同情する	1	1	冷淡である	2
14	亂暴である	1	またたくでろろい	1	133	3	利己的である	3	3	利己的でない	4
15	敏捷である	1	自分のことは自分でする	035	035	3	親切なつくす	3	3	不親切である	0
16	ひとの厄介になりたがる	1	ひとの云ひなり次第になる	036	036	3	我儘である	3	3	自分勝手はじない	3
17	自信をもつて行動する	3	元氣である	337	337	1	容易に怒らない	1	1	怒りつぽい	3
18	陰氣である	3	行き當りばつたりである	038	038	3	ひとをそれほくない	3	3	ひとをそれほくない	3
19	目的なきめて行動する										

番 號	性 行	性 行	判定 困難 程度	番 號	性 行	性 行	判定 困難 程度
39	おじやべりをしない	おじやべりである	2	246	無作法である	1	1
40	だんまりやである	無口ではない	2	247	長上に服従する	1	4
41	出じやべらない	出じやべりたがる	2	248	目が放せない	1	3
42	人前では気がれたをする	他人のゑる所でも騒亂しない	1	549	他人の批評に感ずる	1	0
43	すなほである	剛情である	4	450	ひとのものを欲じがる	1	2
44	ふさげたがる	まじめである	0	51	卒直である	1	1
45	羨白である	執拗である	2	252	よくすねる	1	3
							1

この表によりますに、一般に保育上陶冶が非常に困難とせられるやうなものはありませんが、たゞ、4、42などの項目の性は幾分助成若くは矯正が仕難いものゝやうであります。

(水)、性行項目の決定

これらの諸表の結果に基き、また第二のお願に對する回答敘述を参考といたしまして、私共は有効適切なる項目二十四對を選び出し、その敘述を多少改めまして、試案尺度を作成し、之を發表するまでに漕ぎつけることが出来ました。

この試案尺度は暫定的のもので、今後實施の結果改訂が加へられて標準化せられる豫定であります。その觀察法、記入法、保育上の活用法等に就き、次稿に略述いたしました。御参考に供することにいたします。(未完)